

令和4年度 六大学との連携事業一覧(イベント)

「大学」、「主な対象者」は下記の順で記載

「大学」(足立区での開学・開設順) 放送大学 東京藝術大学 東京未来大学 帝京科学大学 東京電機大学 文教大学

「主な対象者」(年齢を基準に区分) 幼児 小中学生 高校生 大学生 高齢者 全区民 など ※対象者が上記区分をまたがる場合、主な対象者を優先

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加人数	
40	イベント	放送大学	全区民	学びピアの縁側	事務局	脇元幸嗣事務局長	学びピア21内の施設が連携して行うイベント。	対面	通年	—	
41				学びピア21 SDGsキャンペーン	事務局	脇元幸嗣事務局長	学びピア21内の施設が連携してSDGsキャンペーンを実施。	対面	8月	—	
42				学びピアの縁側、出展	東京足立学習センター	サークル「アロマとハーブを楽しむ会」「筆跡研究会」「かかとの会	生涯学習総合施設「学びピア21」の各施設が集まり、体験型プログラムを実施することで、新規利用者の獲得やリピーターの増加、各施設利用者へ横断的な利用を促すことを目的としたイベント「学びピアの縁側」において、放送大学より3サークルが参加。毎月開催のイベントに可能な限り出展した。	対面	毎月1回	—	
43		東京藝術大学	全区民	幼児 小中学生	足立区における多層的文化芸術環境に関する調査研究委託事業「音楽教育支援事業」	音楽学部 音楽文化学専攻	佐野靖教授	文化芸術への区民の関心を高め、文化芸術を通して生活の質の向上及び足立区の個性創造を図るとともに、多層的文化芸術環境の創造に関する調査研究を実施する。	対面	通年	6,013人
44				アートアクセスあだち 音まち千住の縁「Memorial Rebirth 千住」	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	無数のシャボン玉で見慣れた景色を容容させ、新たな記憶を生む、現代美術家・大巻伸嗣によるアートパフォーマンス作品を軸に、地域住民との協働で展開するプログラム。平成30年以降となる大規模イベントの令和5年度開催(予定)に向けて、新たな仲間づくりを行うとともに、本事業の周知をねらいとした企画「ふわりシャボン玉」を他団体主催のイベント等で実施した。	対面	5/4、7/3 7/30、8/7 8/21、9/10 10/29、11/6 11/18、3/20 3/21	2,036人	
45				アートアクセスあだち 音まち千住の縁「千住だじゃれ音楽祭」	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	作曲家の野村誠と公募が集まった市民による音楽団体「だじゃれ音楽研究会」が、多様な人々との共創を通じて、だじゃれと音楽が結びついた「だじゃれ音楽」を深めていくプロジェクト。主催事業の「1DAYパフォーマンス表現街」への出演や、他団体が主催するアートイベント「隅田川道中」にも出演するなど、野外パフォーマンスを複数回実施した。	対面	10/29、11/6	100人	
46				アートアクセスあだち 音まち千住の縁「千住・人情芸術祭」	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	地域の人と場所との関係性に着目した、新たな「縁」を結ぶことを目指す。「1DAYパフォーマンス表現街」では、公募パフォーマンス・ゲストアーティストらが、千住ほんちよう商店街等で同時多発的に歌や踊りなどのパフォーマンスを繰り広げた。商店街主催の「こども大名行列」と同時開催し、事前周知や当日の警備・ボランティア等で千住本町商店街振興組合、千住本町五町会、足立成和信用金庫本店の協力を得るなど、地域との新たな縁を紡いだ。	対面 オンライン	11/6	8,463人	
47				アートアクセスあだち 音まち千住の縁「イミグレーション・ミュージアム・東京」	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	現代アートの手法を用いて、地域に暮らす外国人との交流を通して多文化社会を紐解く岩井成昭(秋田公立美術大学教授、東京藝術大学非常勤講師)のプロジェクト。区内小学校4校へ海外ルーツを持つアーティストを派遣する等、アートを通じて多文化社会を考えるエデュケーション・プログラムを実施した。また、海外ルーツの方々から公募した絵画など約70点を展示する多国籍美術展を仲町の家で開催した。	対面 オンライン	11/18、11/19 11/21、12/3-25 1/19、1/21 1/23	1,370人	
48				アートアクセスあだち 音まち千住の縁文化サロン「仲町の家」拠点形成事業	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	江戸時代に建てられた旧家の日本家屋を、アートの拠点・文化交流施設として管理運営している文化サロン。さまざまな人や団体とともに家の活用法を探る「パイロットプログラム」では、特に創作・表現意欲のある若手アーティストや学生の活躍・挑戦の場となっている。	対面	通年	9,167人	
49				足立区における多層的文化芸術環境に関する調査研究委託事業「芸術によるまちづくり事業」	音楽学部 音楽環境創造科	田村文生准教授	コンサートや動画配信を通して、区民の文化芸術への関心を高め、文化芸術を通して生活の質の向上及び足立区の個性創造を図るとともに、区内文化芸術振興に資することを目的とする。コンサートと動画配信(R2年度から)を年4~5回で実施。	対面 オンライン	10/8、11/3 12/6、1/21	2,761人	
50				足立区における多層的文化芸術環境に関する調査研究委託事業「福祉と子育て支援事業」	音楽部 音楽文化学専攻	畑瞬一郎教授	文化芸術への区民の関心を高め、文化芸術を通して生活の質の向上及び足立区の個性創造を図るとともに、多層的文化芸術環境の創造に関する調査研究を実施し、今後の区内文化芸術振興に資することを目的とする。 ・具体的事業は以下のとおり ①保育者を対象に音楽を通して乳幼児と関わる意義とその方法の理解を深め、保育実践につながる具体的な音楽活動(おとあそび研修) ②音楽療法のノウハウとスキルを区内保育施設の音楽活動に活用するための出張型園内コンサート及び園内研修 ③障がいのある子どもとその家族を対象としたコンサート	対面	①5/31、6/14 7/5、10/18 11/14、11/29 12/13、1/17 ②7/7、7/14 9/15、9/29 ③11/11~ 3/31	740人	
51				すすめ!多世代交流祭り	国際芸術創造研究科	藤枝伶(後期博士課程)	地域包括支援センター西部ブロック、6か所の地域包括支援センターが集まり地域包括支援センターのPRを主目的として、ホウカツのみならず各種団体の協力を得て、多世代が集うイベントであった。	対面	10/29	300人	
52	すみだ川アートラウンド			国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	「音まち計画」からの依頼で、圏域内のサロン等を紹介した。谷中のおかっがてが劇団うめはるの活動に2回参加し、自作ダンスの振り付けなどを行った。また、野村誠氏が梅田クラブの活動に2回参加し、アジアの楽器などを用いた遊びなどを行った。	対面	7/21、10/6 1/18、2/15	—		
53	東京未来大学	小中学生、 高校生	アートワークショップ	こども心理学部 こども心理学科	高橋文子准教授	大学生指導のもと、アートに興味ある中高生が色鉛筆を使ったデッサン・レジンアクセサリーづくりから自己表現を学ぶ。	対面	6/12	21人		
54			学生が提案したコースを楽しむ 千住まち歩き	モチベーション 行動科学部 モチベーション 行動科学科	森下一成教授	森下ゼミ生と連携し、学生が提案したコースを学生が案内するまち歩き。	対面	11/3	14人		
55			くらしフェスタ	こども心理学部 こども心理学科、エン rollmentマ ネジメント局	木内菜保子教授 鈴木哲也教授 西村実穂講師 阿部央雄CA	消費生活に関する知識を啓発するイベント。未就学児、小学生またはその保護者に向けた啓発をターゲットとしたワークショップを出展する予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染拡大により縮小開催(主に人を配置しない展示会)が決定したため、不参加となった。なお、企画などの打合せ等は行った。	対面	10/19~ 10/25	—		
56			第1回MIRAI FES	—	田中翔CA 学園祭実行委員会	東京未来大学の学園祭「第1回MIRAI FES」において、学生や地域の人たちに気軽に「SDGs」に触れることが出来る場を提供したいと、大学側からあだち再生館にワークショップの依頼があった。当日のワークショップでは、学生が集めた古布を材料にして、オリジナルブックカバーを作成した。衣料品の供給過多など現状について説明し、参加者にリユースやリサイクルの重要性を認識してもらった。	対面	10/30	42人		
57	帝京科学大学	幼児	のびのびプレイデイ	教育人間科学部 幼児保育学科	本多みどり教授 飯泉祐美子教授 杉本信教授 呂曉彤教授 今西ひとみ准教授 木場有紀准教授 巨直子准教授 富岡麻由子准教授 安部久美助教 田口直子助教 松山寛助教 渡辺令子助教 渡部晃子助教 小林咲里亜特任助教	幼児保育学科の大学生と一緒に「カブラ」「アクセサリづくり」など9つの遊びブースを保護者と一緒に自由に遊ぶ。	対面	11/19	118人		
58			ポーリング調査の公開	教育人間科学部 学校教育学科	植木岳雷教授	鹿浜第一小学校の校庭内でポーリング調査を実施。その様子を小学校高学年生に公開し、足立の地質について解説した。	対面	6/8	170人		
59			フラッグフットボール教室	—	—	一般社団法人キャタピラーズが帝京科学大学のグラウンドにてフラッグフットボール教室を開催。案内チラシを千住地域周辺の小学校に配布した。	対面	12/18、2/26 3/5、3/19 3/26	85人		
60			ふれあい動物教室	生命環境学部ア ニマルサイエ ンス学科	並木美砂子特任教授	大学から学校に向いて、大学生と交流しながら、モルモット・スナネズミ等とのふれあいを通じて「いのちの大切さ」を体験する。	対面	—	1,601人		
61			ENJOY 夢の体験教室	教育人間科学部 学校教育学科保 健体育コース・教 育人間科学部学 校教育学科中高 英語コース・教 育人間科学部学 校教育学科小学 校コース	長見真教授 持田尚准教授 岩沼聡一朗講師 馬場千秋教授 安藤生大教授 大日向浩教授 小池守教授 倉山智春准教授 高田由基助教 石橋裕子教授	小学生向けにわかり易くした4つの大学講義を体験。	対面	10/1、10/15	68人		
62	体験!1日大学生	生命環境学部生 命科学科臨床工 学コース・生命環 境学部自然環境 学科	堀和芳准教授 山際清史講師	中学生向けにした大学講義を体験することで自らの興味関心を深める。併せて、大学生がキャンパスライフを紹介。	対面	1/21	34人				

令和4年度 六大学との連携事業一覧(イベント)

「大学」、「主な対象者」は下記の順で記載

「大学」(足立区での開学・開設順) 放送大学 東京藝術大学 東京未来大学 帝京科学大学 東京電機大学 文教大学

「主な対象者」(年齢を基準に区分) 幼児 小中学生 高校生 大学生 高齢者 全区民 など ※対象者が上記区分をまたがる場合、主な対象者を優先

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加人数
63	イベント	帝京科学大学	小中学生	ときめき！未来教室	教育人間科学部 学校教育学科 小学校コース	石橋裕子教授	児童養護施設の子ども達を招待して、大学生と一緒にチームを組み、キャンパス内を探検しながらのウォークラリーをする。	対面	1/21	5人
64			大学生	拉致問題啓発パネルの展示	-	-	「北朝鮮人権侵害問題等啓発週間12/10～16」にあわせた啓発事業として、啓発パネルを大学構内に展示した。	対面	12/12～12/16	-
65			大学生	清掃美化活動実施団体への登録及び清掃活動の実施	-	-	大学として団体登録、月1回以上、定期的に清掃活動を実施する団体に対し、年1回、区が3,300円以内の清掃物品を進呈、及びホームページ等で活動紹介を行う。	対面	毎週月曜日	200人
66			高齢者	千住便利隊・見守り活動	医療科学部 医療福祉学科	山田健司教授、楠永敏恵教授	千住龍田町会と千住便利隊・見守り活動のコラボ。高齢者の困りごとに対応する学生の訪問。町会役員へ活動報告会を実施。	対面	2/20	9人
67		東京電機大学	小中学生	小学生のためのモノづくり科学実験 《単極モーターを作ろう～電流のふしぎをさぐる～》	未来科学部ロボット・メカトロニクス学科	汐月哲夫教授	2018年度からはじめた小学生の夏休み自由研究に役立つイベントプログラム『Let's自由研究』のひとつ。モノづくりと科学の不思議を実験しながら体験するという企画。教授が研究室をお持ちになるのが今年最後とのことで、より専門分野に近い単極モーターで電流の仕組みを探ろうというものを、対象は小3～6年生に限定し、講義と実験を交えた内容で実施いただいた。	対面	8/6	10人
68			小中学生	電子工作教室	工学部情報通信工学科	定松宜義講師	オンデマンド落選者を対象とした対面講座。	対面	10/29	22人
69			大学生	ティーンズ向け図書情報誌「ティーンズスコープ」	情報通信工学科、機械工学科	-	ティーンズをターゲットにした図書情報誌の発行するため、東京電機大学の学生にインタビューを実施した。その中で紹介してもらった「中学生にオススメの本」などを誌面に掲載。	対面	3月	-
70			大学生	美化推進協議会「秋の清掃活動」	-	-	北千住美化推進協議会として、駅周辺の清掃活動を実施。大学敷地内を集合場所として提供してもらっている。	対面	10/3	15人
71				美化推進協議会「春の清掃活動」	-	-	北千住美化推進協議会として、駅周辺の清掃活動を実施。大学敷地内を集合場所として提供してもらっている。	対面	5/17	13人
72				花いっぱいコンクール	生体反応研究室	-	花いっぱい運動の一環として実施。大学敷地内の花壇で花の栽培を行い、コンクールに参加する。	対面	年2回	3人
73				小中学生	花畑公園・桜花亭 秋のスポーツ・健康フェスタ2022 縮小版	大学事務局地域連携部地域連携課	-	〔身近な公園 de 健康づくり〕がコンセプトの「子どもから大人までが楽しめる、スポーツ・健康づくりに関連したイベント」。コロナ禍で、過去に開催したような大規模イベントは開催できないので、事業内容を厳選し諸々の制限も施したうえで、縮小版と銘打って3年ぶりに開催した。文教大学には、オープニングイベントへの出演(ダンス部)と、学生ボランティア募集(5名)を依頼。	対面	9/25
74			文教大学	高校生	OからENGLISH	国際学部国際理解学科	塩沢泰子教授	絵本をもとに、身体を動かして英語の面白さを身近に感じるレクリエーションやジェスチャーゲームを体験する。	対面	9/24、2/5
75		高校生		淵江高校による大学見学	地域連携課	-	都立高校に区内大学を知ってもらうことで、生徒の今後の活動や進路に役立ててもらおう。	対面	7/13	3人
76		全区民		はなはた文教マルシェ	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	足立成和信用金庫、花畑地区の地域自治会で組織された実行委員会により、草加市も含む大学周辺の地域の皆様の交流促進や地域経済の活性化を目的に企画・運営されたイベント。	対面	10/30	3,000人
77	ぶんご食堂			国際学部国際観光学科	渡邊暁子教授	学生主催の子ども食堂の実施。 ・チラシ配布等の周知協力	対面	8/13、2/12	80人	
78	あだち学			国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	「地元学」として地域の魅力発掘や活性化について学ぶ。 ・地域向けに研究した内容の発表会を桜花亭で実施。	対面	4/17	48人	
79	出張展示「世界を旅するおはなし会で出会うプリンセス」			大学事務局学術情報部図書館課	-	【内容】文教大学東京あだち図書館の特集コーナーにて、共同展示を行った。花畑図書館で開催している「世界を旅するおはなし会」で紹介したプリンセスが活躍する絵本を展示した。 【目的・経緯】昨年から継続事業で資料展示などを通して花畑図書館の「世界を旅するおはなし会」の認知と利用促進を図る。	対面	6/30～8/4	385人	
80	高校生によるあだち未来スケッチ発表会			国際学部国際観光学科	林薫教授	多様な人々や団体が柔軟につながるプラットフォーム事業として実施したイベントに大学生が運営スタッフとして参加。	対面	11/20	37人	
81	ステップアッププログラム			経営学部経営学科	鈴木誠教授	「ステップアッププログラム」セミナーの最終発表会でのコメンテーターとして依頼。	対面	2/9	27人	
82	せんきょけんエラビーを探せ！	-		-	文教大学の学園祭における選挙啓発を目的としたクイズラリーの実施。選挙機器の実演。	対面	11/12、11/13	114人		
83	東京未来大学/文教大学	全区民		2030あだち未来スケッチ地域活動交流会	モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科/国際学部国際理解学科	森下一成教授 林薫教授	多様な人々や団体が柔軟につながるプラットフォーム事業として実施したイベントに大学生が運営スタッフとして参加。	対面	6/26	57人
84	東京藝術大学/東京未来大学/帝京科学大学	大学生	春のごみゼロ地域清掃活動	-	-	区の「春のごみゼロ地域清掃活動」事業への協力依頼済み。指定期間中に、大学周辺の清掃活動を実施。(5/16藝大、5/31未来大、6/27帝科大)	対面	5/16、5/31 6/27	34人	